

「なくてはならない会社」 を目指して

セイコーエプソン株式会社 代表取締役社長
碓 井 稔



セイコーエプソンは、今年で創業75周年を迎えました。私たちは、創業の事業である腕時計の開発・製造を通じ、“エネルギーを省く”、“ものを小さくする”、“精度を追求する”という、精密機器メーカーとしてのものづくりのDNAである「省・小・精の技術」を徹底的に極めてきました。エプソンは、強みであるこの技術を基盤として、より良い社会の実現に中心的な役割を果たし、「なくてはならない会社」でありたいという志を高く持ち、全社一丸となって新しい価値の創造に挑戦しています。

これは、競争相手との勝負に一喜一憂するのではなく、エプソンでなければ提供できない価値や、世の中の期待を上回る商品・サービスをお届けする会社になりたい、との強い決意に基づいた取り組みです。その実現のためにエプソンは、長年培ってきた独自のコア技術を活用し、インクジェットプリントヘッドやプロジェクターの光学エンジンなどの強みや優位性をもった独創のコアデバイスを、自ら開発し量産しています。このコアデバイスの特長を熟知しているからこそ、自ら強い商品を企画・設計し、ものづくりの力を駆使して完成品まで生産してお届けすることで、お客さまの期待を超える商品やサービスを、タイムリーにご提供することが可能となります。